

和歌山だよいい

令和2年
(2020) 4月号



こいのぼりの丹生川渡し (九度山町)

毎年4月上旬から5月5日まで、九度山町を流れる丹生川の上空を川幅いっぱい約100匹の鯉のぼりが泳ぐ「こいのぼりの丹生川渡し」が実施されています。

端午の節句は、元々中国から伝わり、日本では、季節の変わり目となる5月5日に無病息災を願って邪気払いをする儀式となり、さらにその後、子供達が将来出世して活躍することを願う行事となりました。

一日も早くこの感染症の拡大が終息し、子供達が健やかに成長することを願うばかりです。

CONTENTS

1. 知事メッセージ…………… P1～P2
2. 和歌山県政トピックス… P3～P11
3. お知らせ…………… P12～P14
4. ふるさと歳時記…………… P15



新型コロナウイルス感染症対策

－学校クラスターの抑え込みと県民の皆さんへのお願いのレベルアップ－

和歌山県では、先日紀の川市打田中学校で、7人の教員がコロナに感染していることが判明し、済生会有田病院の院内感染に次ぐ2つめのクラスターが発生してしまいました。初めの発見は和歌山県が独自に推奨しているクリニック等一般医療機関による肺炎発見方式によってであります。その後早急に打田中学校の教員全員にPCR検査を実施し、続いて陽性の方々の家族や接触した人々を徹底的に調べ、濃厚に接触をした人々にPCR検査を実施した結果、今のところ、確認された教員7人家族2人の感染で抑え込めるのではないかと考えています。

またまた大変な試練だと思っておりましたが、和歌山県特有の早期発見と早期隔離と徹底ヒアリングで何とかクラスターからクラスターへの連鎖が防げたかなというところでした。しかし、現在患者数が一気に20人まで増えてしまいました。この時点では大丈夫ですが、これがどんどん増えてきますと、医療体制を崩壊させないために、次の医療提供システムにスイッチしていく必要もあります。その準備も水面下で行っているところです。

4月7日、政府は新型コロナウイルス感染症対策として7都府県を対象地域とする緊急事態宣言を発令しました。続く4月11日には、この基本的対処方針を一部変更して、緊急事態宣言対象地域における勤務を70%以上テレワークに切り替えることや、全国の繁華街の接客を伴う飲食店等へ行くことを強く自粛するよう促すという発表をしました。

本県では、4月8日県民の皆様へのお願いを発表して、自粛や感染予防をお願いしているところですが、上記の状況に鑑み、4月12日、外出、集団生活を行う施設、7都府県からの帰省・転勤された方等について、さらなるお願いの強化をすることにしました。

緊急事態宣言の対象地域である大阪府も4月14日から緊急事態措置の内容を一段とレベルアップしています。和歌山は大阪との関係が深いので、大阪の感染が止められていない現状では、これからも増大するリスクに一生懸命向き合っていかなければなりません。

世界、そして、首都圏や大阪府などの状況を見ても、これは容易ならざる事態でありますし、容易にはおさまりそうもなく、長期にこのコロナと戦う覚悟を持ってかかる必要があると思います。しかし、県民の皆さんのご協力が得られないと、当県でも事態は急速に悪化し、救える命も救えなくなり、かつ混乱と打撃が大きくなるとそれ故に復興の度合もスピードも芳しくなくなることも考えられます。是非一人一人心して行動して下さるようお願いいたします。

和歌山県知事 仁 坂 吉 伸



4/7 記者会見室にて

7都府県に緊急事態宣言が発出されたことに伴う県民の皆様へのお願いについて（第2弾）

新型コロナウイルス感染症の全国における感染拡大状況に鑑み、また、昨日、政府の基本的対処方針が変更されたこと等から、県としても4月8日に県民の皆様へお願いした内容に加え、本日、改めて下記のとおり県民の皆様へお願いいたします。

《県民の皆様へ》

1 外出の自粛等について

- (1) 「3つの密」が重なるような場所への外出の自粛をお願いします。
特に、繁華街の接客を伴う飲食店等への外出の自粛について、強く要請します。
- (2) 咳や発熱などの症状がある場合は、通勤等であっても、決して無理をして外出せず、まずは最寄りの保健所または県庁健康推進課にご連絡ください。
- (3) 生活用品の買い出しなど生活維持のための外出についても、必要最低限の人数で行うなど、できる限り人と人との接触機会を少なくするようお願いいたします。
- (4) 対象区域への往来自粛については、以下のことについて特に留意してください。
 - ・ 対象区域への通院であっても、医療機関と相談の上、直接受診を減らすなどの工夫を行い、できる限り、対象区域への往来自粛をお願いします。
 - ・ 特に、都市部や歓楽街など人混みが多く、感染リスクが高いと思われる場所への往来については強く自粛を要請します。
 - ・ 対象区域に通勤している方は、テレワークの活用など、可能な限り在宅での勤務をお願いします。なお、勤務先において、在宅勤務や時差出勤制度の活用について理解が得られないなど、お困りの方は、下記の相談窓口にご相談ください。
《商工観光労働総務課 073-441-2725 平日 9:00~17:45》
 - ・ 観光業等の事業者の皆さまには、対象区域から予約があった場合に自粛を働きかけていただくようお願いいたします。
- (5) その他一般的に、外出については、必要性をよく考え、先送りできるのであれば自粛をお願いします。

2 集団生活を行っている施設の皆様について

前回（4月8日のお願い）申し上げたとおりですが、特に、改めて以下のことについてご注意ください。

- (1) 職員（調理従事者含む）はマスクを着用し、手洗いや手指消毒を徹底してください。健康状況についても自己検温や健康観察を促し、異常があれば、業務に従事しないようにしてください。
- (2) 食事については、ビュッフェスタイルではなく、個別の盛り付けとしてください。
- (3) 入所者など利用者において、発熱や呼吸器症状が一人出た段階で保健所に相談してください。一週間以内に二人以上同様な症状の者が出た場合は、速やかに保健所に報告してください。
- (4) 面会については、施設内に入らないようにして対応してください。

3 緊急事態措置すべき区域から帰省・転勤された方について

現在、2週間の自宅待機とともに、「県庁帰国者・帰省者・転勤者連絡ダイヤル」への連絡をお願いしておりますが、ご近所で、対象区域から帰省や転勤された方がいらっしゃる場合は、このことについてお伝えし、登録をお勧めしてください。

その際、それが難しい場合は、直接、連絡ダイヤルにお知らせいただいても結構です。

●マスクなどのたくさんの御支援をいただいております

新型コロナウイルスの感染が世界各地で拡がる中、日本においても日々感染者が増加しており、政府は4月7日に東京、大阪をはじめとする7都府県を対象とした緊急事態宣言を発出しました。本県でも、2月13日に済生会有田病院で県内初の感染者が確認されて以降、これまで40人（4月14日現在）の感染が確認されております。県では、関係機関と連携を図りながら、感染防止対策の推進、情報の公開、24時間相談窓口の設置、検査の徹底など、一貫して迅速な防疫措置を講じることで、感染拡大を食い止めているところです。

県内での感染が確認されてから間もなく、多くの県内企業の方々からマスクや消毒液、防護服等の支援物資を御提供いただいております、心から感謝申し上げますところではあります。

そのような中、中国の方々からも温かい支援の手がさしのべられました。



たくさんの支援物資を賜りました

3月中旬には、様々な分野で交流を続けている山東省政府及びパンダに関して本県と交流のある四川省政府からサージカルマスクが寄贈されました。また、3月下旬には、中華人民共和国駐日本国大使館及び遼寧省大連市政府から、医療用マスクや防護服、消毒スプレーなど大量の支援物資を寄贈いただき、正庁において贈呈式を開催しました。

さらに、4月に入ってから青島港をはじめとする山東省内の港湾を運営する山東省港口集团有限公司の皆さんから、サージカルマスクを御寄贈いただきました。

海外の友好関係を続けるの方々からのお心遣いに心から感謝申し上げますとともに、世界各国がこの困難な状況を共に乗り越え、感染が一日も早く終息し、再び、活発な交流が再開できるよう祈念いたします。

●阪和自動車道「印南IC～みなべIC」4車線化の事業許可が行われました

昨年9月に4車線化の優先整備区間となっていた阪和自動車道の「印南IC～南紀田辺IC」のうち、「印南IC～みなべIC」について、3月31日、国土交通大臣から、西日本高速道路株式会社に事業許可が行われました。

阪和自動車道の暫定2車線区間は、全国有数の交通量を有しており、慢性的な渋滞が発生するとともに、対面交通による重大事故の発生率が高くなっています。また、南海トラフ巨大地震など大規模災害時の緊急輸送道路となることから、4車線化は急務であり、これまでも様々な機会を捉えて早期整備を強く求めてきました。

今回のことは、こうした取組が実を結んだものと考えており、これまで御尽力をいただいた県選出国會議員や県議會議員、市町村長をはじめとする全ての方々から心から御礼申し

上げるところです。

平成23年5月に海南IC～有田IC間の4車線化が完成し、現在工事が全面展開されている「有田IC～印南IC」、今回事業化された「印南IC～みなべIC」が一日も早く完成され、残る「みなべIC～南紀田辺IC」が早期に事業化されるよう、引き続き、国をはじめとする関係機関に働きかけてまいります。



みなべ～南紀田辺間4車線化の早期事業化が望まれます

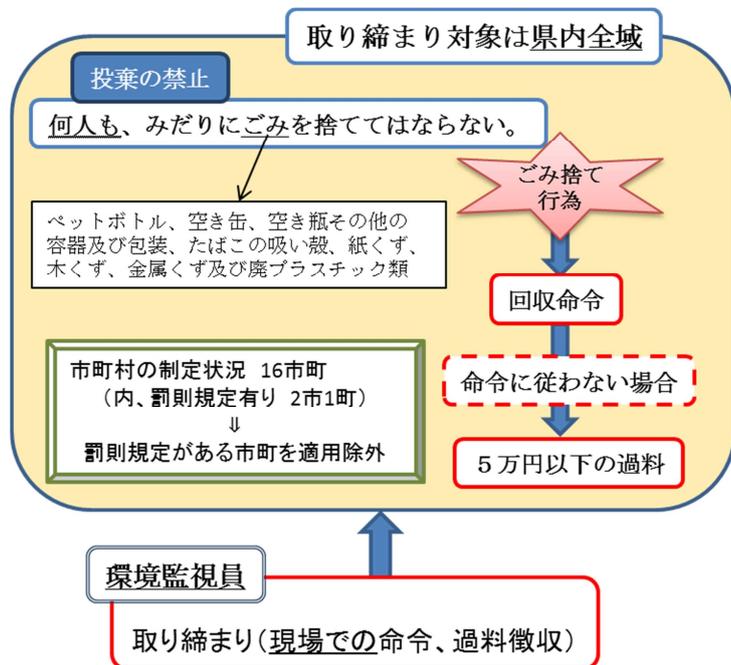
●和歌山県ごみの散乱防止に関する条例を制定しました

近年、プラスチックごみが海洋へ流出し、生態系を含めた海洋環境や沿岸域居住環境等への悪影響が世界規模で発生しており、その対策の強化が課題となっています。

そこで本県では、レジ袋の有料化をはじめとするプラスチックの使用制限や、発生したごみを焼却処分するサーマルリサイクルの制限にはこだわらず、世の中の全ての方は、みだりにプラスチックごみを捨てることを慎み、憎み、取り締まるべきであるとの考えのもと、ごみの回収命令に従わなかった場合に5万円以下の過料を徴収するという罰則規定を設けた「和歌山県ごみの散乱防止に関する条例」を制定しました。

4月1日からこの条例を施行し、ごみの散乱の防止に関して、県、事業者、県民の責務を明らかにするとともに、ごみを散乱させる行為の監視や回収命令、その他のごみの散乱防止に関する啓発活動を行う環境監視員を配置する等により、広域的な環境の保全を図り、廃棄物の適正な処分や再利用による減量化を進めます。なお、罰則規定は10月1日から施行します。

海の環境保全につなげるとともに、後世に美しい和歌山を残そうという県民の皆さんの意識を高めてまいりたいと考えています。一旦この世に出たプラスチックは、絶対に環境に捨てられては困ります。



● I R（統合型リゾート）の誘致に向け着々と準備を進めています



I R 予定区域（和歌山マリーナシティ）

【I R 開業までのスケジュール】

時 期	項 目
平成30年5月	I R基本構想を策定
平成30年7月	I R整備法成立
平成30年10月	I R基本構想を改訂
令和2年2月	I R実施方針の策定
令和2年3月	I R事業者の公募
令和2年11月	優先権者の選定（※）
令和2年7月30日まで	区域認定の申請
令和3年秋～冬	国による区域認定
令和4年春頃	土地の引き渡し
令和7年春頃	I R 開業

※ I R 事業予定者のこと

施設としては、民間ならではの自由な発想で、日本の伝統・文化・芸術を提供するとともに、日本遺産「絶景の宝庫 和歌の浦」と調和する意匠であり、象徴的で先進性のある建築物を建設することとしています。

地域と世界をつなぐ新たな観光ゲートウェイの形成や、関西圏のみならず、伊勢湾、紀伊半島、四国圏などに存在する魅力的な観光資源をつなぎ、巡礼や食文化といったストーリー性を持つ新たな観光街道の形成等を目標としています。

そして、3月30日には「和歌山県特定複合観光施設設置運営事業募集要項」を公表し、民間事業者の公募を開始しました。

全国3か所の内の一つに選ばれ、2025年の大阪・関西万博開催までに開業できるよう、今後も着実に準備を進めてまいります。

今後、和歌山県がさらに発展していくためには、国内外から多くの観光客を惹きつけ、大きな経済効果や雇用効果が見込める「I R」という新たな成長産業が必要になると考え、その誘致に取り組んでいます。

2月20日には「和歌山県特定複合観光施設設置運営事業 実施方針（案）」を発表しました。

本県が目指すI Rは、多種多様な観光資源を背景としたリゾート型I Rであり、スポーツ&ウェルネスをコンセプトに掲げています。オーシャンフロントの立地と自然や温泉、食文化など、和歌山県が有する豊富な資源を生かすとともに、海洋リゾートの魅力をも十分に発揮した、都市部では体験できない自然志向の楽しみや癒やしを提供します。



海洋リゾートとしての魅力を生かします

●「ジャパン・レジリエンス・アワード2020」において「最優秀賞」を受賞しました

全国に先駆けて復興計画事前策定を推進する本県と、県内で初めて復興計画事前策定を行った美浜町の取組が、強靱な国づくり、地域づくり、人づくり、産業づくりに資する活動等に取り組む先進的な企業・団体を評価、表彰する「ジャパン・レジリエンス・アワード2020」において、最優秀賞を受賞しました。

【第6回ジャパン・レジリエンス・アワード（強靱化大賞）】

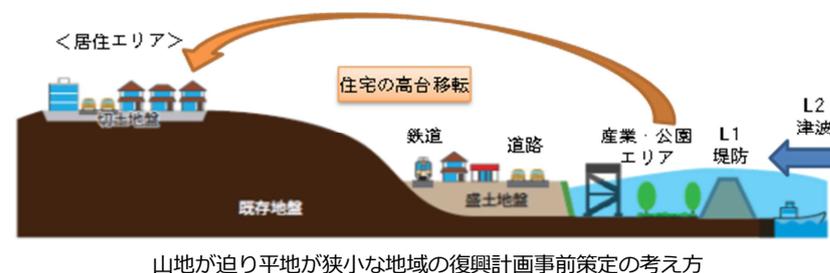
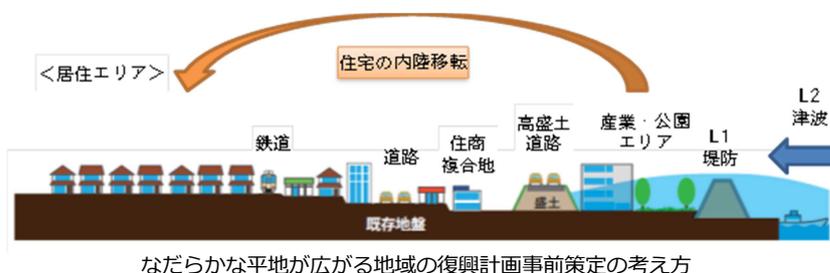
- 最優秀賞
和歌山県、美浜町
「復興計画事前策定の推進～発災後も地域への愛着・誇りを持って暮らしを続けるために～」
- 特別顧問賞 二階俊博（国土強靱化提唱者）賞
有田川町消防本部
「エコを中心とした災害に強い消防体制の構築」
- 特別賞 佐々木則夫賞 [サッカー日本女子代表 元監督]
和歌山県田辺市立大坊小学校
「和歌山県田辺市大坊小学校におけるトイレの防災授業／ジュニア・ボランティア育成活動」

和歌山県では、平成30年から全国に先駆けて県内市町村における復興計画事前策定を推進しており、美浜町は平成31年3月、県内で初めて復興計画事前策定を行いました。

南海トラフ地震等の大規模災害が発生すると、初動対応や復旧の業務量が膨大となります。その際、復興事業への対応が遅れ、時間がかかってしまうと、地域の活力が失われる恐れがあります。本県では、そのような事態を避けるため、事前に復興の完成イメージを共有しておくことで、いち早く復興に取り組むことが可能となる「復興計画事前策定」を積極的に推進しています。全国でも稀な都道府県による「復興計画事前策定の手引き」の作成や市町村復興計画の事前策定支援本部を設置し、南海トラフ地震等で津波被害が想定される沿岸市町の計画策定を支援しています。

美浜町では、災害が発生した場合に1日でも早く復興が進められるよう、復興計画事前策定として復旧期も含めた「美浜町復興に関する事前準備計画」を策定しました。早期復旧のため、あらかじめ仮設住宅用地やがれきの置き場所を選定するとともに、コミュニティの保持、コンパクトシティ化、道路ネットワークの充実に重点を置いた計画となっています。

本県では、今後も大規模災害への事前の備えとして、復興計画の事前策定を強力に推進してまいります。



●令和3年は和歌山県で「国民文化祭」、「全国障害者芸術・文化祭」、「全国高等学校総合文化祭」を開催します

令和3年は、明治4年の廃藩置県により、和歌山県・田辺県・新宮県の3県が統合され、現在の和歌山県が誕生してから、150年目の年となります。



「文化祭」にふさわしいデザインに仕上がりました

「文化祭」にふさわしいデザインに仕上がりました。目的に開催される祭典で、平成13年の第1回大阪大会から毎年開催されています。また、平成29年の奈良大会からは、国民文化祭と同時開催されています。

本県では、この同時に開催する文化祭の愛称を『紀の国わかやま文化祭2021』とし、令和3年10月30日から11月21日まで開催します。本県出身の詩人・作家である佐藤春夫の詩「望郷五月歌」の一節を引用した「山青し 海青し 文化は輝く」を大会キャッチフレーズとし、心豊かで多様な価値観が共生する社会の形成を進め、先人から受け継いできた豊かな文化を新しい時代へと発展させ、継承する祭典を目指します。

一方、全国高等学校総合文化祭は、芸術文化活動に取り組む高校生が日頃の成果を披露する高校生最大の文化の祭典で、昭和52年の第1回千葉大会から毎年開催されています。

この大会の愛称を『紀の国わかやま総文2021』とし、7月31日から8月6日の7日間、「届けよう和の心 若葉が奏でるハーモニー」の大会テーマのもと、人々の心や営みに自然が息づく和歌山の地に、創造性あふれる高校生が集います。

現在、『紀の国わかやま文化祭2021』の実行委員会では、広報ボランティアとして広報に御協力いただける方を募集しており、御参加いただける方にはエコバッグやボールペン等の広報グッズを差し上げています。活動内容は、文化祭公式SNS（フェイスブック、ツイッター、インスタグラム）へのフォロー・シェアや広報グッズの活用等で、



各種SNSのQRコードはこちら

誰でも御参加いただけます。

なお、『紀の国わかやま総文2021』でも、4月からホームページを開設しておりますので、是非、御覧いただければと思います。

令和3年は、これら3つの文化祭の開催により、和歌山の文化を更に大きく花開かせる機会としたいと考えています。

・紀の国わかやま総文2021のHPはこちら

→<https://wakayama-soubun2021.jp/>



この大会のロゴマークをはじめテーマ、イメージソング、ポスターなど全て高校生の皆さんが作っています。

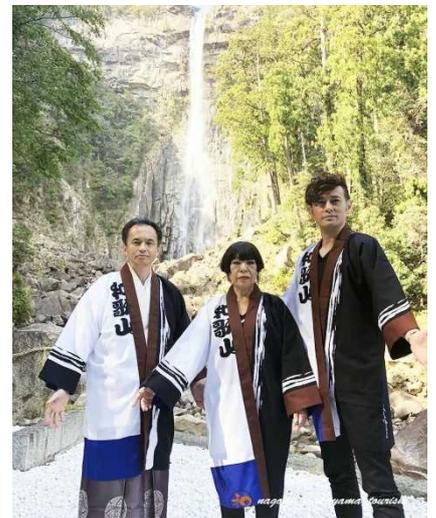
●コシノジュンコさんデザインの観光PR「法被・手ぬぐい」が完成

この度、世界的なファッションデザイナーであるコシノジュンコさんにデザインいただいた、本県の観光PR法被と手ぬぐいが完成しました。

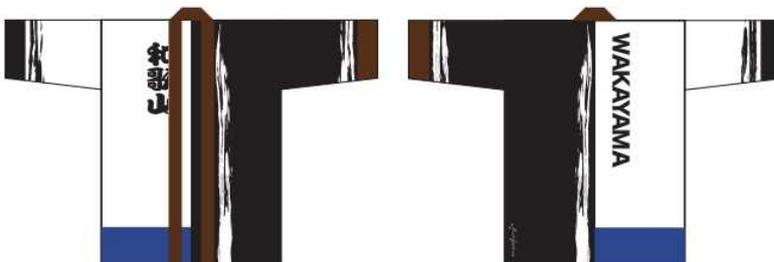
コシノさんには、昨年、世界遺産登録15周年を記念して立ち上げた『高野山・熊野を愛する100人の会』のメンバーに加わっていただいております。今回もその交流の中で、本県の企画を快諾いただき、実現に至りました。

コシノさんからは完成にあたり“「高野山・熊野」がある和歌山は、日本の精神が息づき、文化と歴史の原点、「木の国わかやま」「水の国わかやま」のイメージを感じました。法被・手ぬぐいにはそれらを表現できたと思います。”とメッセージをいただいております。

この法被と手ぬぐいは、『高野山・熊野を愛する100人の会』での活動はもちろん、和歌山の観光PRイベントをはじめ、様々な場面で活用していきます。



法被をお召しのコシノさん(於:那智の滝前)とメッセージをいただいております。



和歌山の粋が体現されたかのようなデザインの法被



こちらは手ぬぐい

●「わかやまブランドストーリー」に新たな仲間が加わりました

本県は、温暖な気候、紀伊山地を覆う豊かな森林、その森林を源流とした数々の河川、豊かな恵みを運ぶ黒潮など、素晴らしい自然環境に恵まれています。その自然環境を生かし、技術と熱意を持って生産している和歌山ならではのブランドが数多くあります。

“良いものには理由がある”をモットーに、これまで『みかん』、『南高梅』、『柿』等を御紹介してきたPRパンフレット「わかやまブランドストーリー 育むのは人と風土」に、この度、新たに『太刀魚』、『えび』、『紀州備長炭』、『スターチス』の4冊が加わりました。

和歌山県が自信を持ってお勧めする、自然の恵みと匠の技により生み出される品々にまつわる珠玉の物語を是非御覧ください。（下記サイトにて御覧いただけます。）



・WEBサイトのURLはこちら

→ <https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/071700/index.html>

●和歌山県産「南高梅」果汁を使用したヨーグルトが販売されています

本県では、わかやま製品のブランド力と県産食材の認知度を上げるために、食品メーカーへの県産品採用に向けた取組を行っています。

この度、日本ルナ株式会社（代表取締役社長：石井良彦氏）から、うめの収穫量日本一を誇る和歌山県産「南高梅」の果汁を使った『バニラヨーグルト 和歌山県産 南高梅』が、3月2日から販売されています。

梅の最高級ブランドといわれる南高梅のしっかりとした味と香りをベースとしたバニラヨーグルトは、爽やかな香りが味が楽しめ、春先から夏にかけてのシーズンにピッタリです。



本県が誇る南高梅の風味を御堪能ください

今月の和歌山県政トピックス

販売期間は9月頃までを予定しており、全国の量販店、コンビニエンスストア等でお買い求めいただけます。

●「序曲《徳川頼貞》吹奏楽版」音源が活用いただけるようになりました

西洋音楽の普及に尽力した紀州徳川家第16代当主徳川頼貞が、莫大な私財を投じて蒐集した音楽コレクション「南葵音楽文庫」は、多くの方々の御協力をいただき、昨年度グランドオープンを迎え、和歌山県立図書館等において公開しています。

この「南葵音楽文庫」は、平成28年に読売日本交響楽団から本県が寄託を受けたもので、その寄託を記念して平成29年に開催された読売日本交響楽団和歌山特別公演では、徳川頼貞の恩師エドワード・ネイラーが作曲した「序曲《徳川頼貞》」が、約1世紀ぶりに演奏されました。

県では、この素晴らしい曲を子供達をはじめとする多くの皆さんに演奏してもらいたいと考え、昨年、東京藝術大学非常勤講師で作・編曲家の大橋晃一（おおはし こういち）氏に依頼し、吹奏楽版に編曲していただきました。そしてこの度、大橋晃一氏が指揮し、東京藝術大学の学生やOBの皆さんにより編成された楽団の演奏する吹奏楽版の音源が完成しました。より多くの皆さんに親しんでいただけるよう、ホームページにおいて公開しており、今後、県内の吹奏楽部・吹奏楽団にCDを配布していきます。

・HPアドレスはこちら

→<https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/022100/nanki/index.html>



大橋晃一氏と東京藝術大学の学生・OBの皆さん



南葵音楽文庫

●就活アプリ「UIわかやま就職ガイド」を配信中！

本県では、大学生等のUIターン就職を促進するため、毎年「UIわかやま就職ガイド」という企業ガイドブックを作成しています。これまで、このガイドブックを本県出身の大学新4年生や新3年生、短大生、県内の当該学年の大学生等に配布し、就職関連情報の積極的な発信に取り組んで来ました。

さらにこの度、学生の皆さんが、より効率的な就職情報を収集できるような機能を備えた「和歌山県版就活アプリ」を3月24日から配信しています。

企業検索や気になる企業の登録、インターンシップのエントリー、就活スケジュールの管理など、就職活動に役立つ機能を搭載していま



是非御活用ください

すので、是非御活用ください。

全国的に合同説明会等が中止や延期される中、本県では、ガイドブックやアプリ等も活用しながら、学生の皆さんの就職活動を応援します。

- ・アプリのダウンロードはこちら →



- ・ガイドブックを掲載したHPはこちら →



- ・「U I わかやま就活ガイド」WEBサイトのURLはこちら
→<https://www.wakayama-uiturn.jp/>



HPでも御覧いただけます

●ふるさと和歌山応援寄附(ふるさと納税)の案内

ふるさと和歌山応援寄附は、「ふるさと和歌山を大切にしたい」、「和歌山を応援したい」という思いを具体化するための制度です。これまで多くの御寄附と力強い応援メッセージを数多くいただいております。

県では、ふるさと和歌山応援寄附を「世界遺産『紀伊山地の霊場と参詣道』の保全や活用」や「がん対策の充実」などの分野で活用させていただいております。

また、今年度から「子供たちの教育環境の充実」、「犬・猫の殺処分ゼロを目指す活動への支援」の2つを寄附メニューに追加しました。(次頁参照)

御寄附につきましては、郵送や振込みで行うことができますが、ふるさと納税総合サイト「ふるさとチョイス」ではクレジット決済に加え、今年度よりキャッシュレス決済を御利用いただくことができます。申出から決済までを同時に行うことが可能です。ぜひ御利用ください。

また、和歌山県外にお住まいの方で1万円以上の御寄附をいただいた方には、和歌山県優良県産品(プレミアム和歌山)として県が認定した商品の中から、事業者の協力を得て選定した返礼品の中から1品をお選びいただけます。

昨年度から返礼品の拡充を行い、寄附金額の価格に応じて返礼品を選んでいただけるようになりました。和歌山県が誇る優良産品(プレミアム和歌山)を是非御堪能ください。

また、返礼品とは別に、2千円以上の御寄附をいただいた御希望の方に「和歌山ファンクラブ」(和歌山県観光連盟所管)への入会権を贈呈しています。御入会いただくと、刊行情報誌「紀州浪漫」の送付など、魅力ある特典がございます。お申込みはふるさとチョイスからお願いします。

ふるさと和歌山応援寄附についての詳細は、和歌山県のホームページ上の「ふるさと和歌山応援サイト」に掲載していますので、是非御覧ください。

これからも、ふるさと和歌山応援寄附に御協力いただきますよう、お願い申し上げます。



○寄附金控除のしくみ(例)

寄附金10,000円の場合		
所得税 約800円	住民税 約7,200円	適用下限額 約2,000円
← 控除額合計約8,000円 →		

全額控除される寄附金額の目安

自己負担額2,000円を超える金額が全額控除される寄附金額の目安は下の表のとおりです。

【注意】下の表はあくまでも目安としてお考えください。

単身者の場合

給与収入	寄附金額目安
300万円	28,000円
400万円	42,000円
500万円	61,000円
600万円	77,000円
700万円	108,000円
800万円	129,000円
900万円	151,000円
1,000万円	176,000円
1,500万円	389,000円
2,000万円	564,000円

夫婦、子2人の場合

給与収入	寄附金額目安
300万円	—
400万円	12,000円
500万円	28,000円
600万円	43,000円
700万円	66,000円
800万円	85,000円
900万円	119,000円
1,000万円	144,000円
1,500万円	361,000円
2,000万円	536,000円

「ふるさと和歌山応援寄附」を活用して行う県の取組

お寄せいただいた寄附金を「ふるさと和歌山応援寄附金」として、次の取組に活用させていただきます。

1 生涯スポーツ・文化の振興

全国規模の大会の開催を通じて、生涯スポーツの振興と文化力の向上を図ります。

- ・ワールドマスターズゲームズ2021関西
 - ・国民文化祭 ・全国障害者芸術・文化祭
 - ・全国高等学校総合文化祭
- 各大会等の開催に向けた準備をすすめます。



7 学校図書館や県立図書館の蔵書の充実

和歌山の未来を担う子供の育成や県民の読書文化の向上のため、学校図書館や県立図書館の蔵書の整備をすすめます。

- ・県立学校の図書館の蔵書の充実をすすめます。
- ・県立図書館の蔵書の充実をすすめます。



2 南紀熊野ジオパークの推進

令和元年7月に完成した「南紀熊野ジオパークセンター」を拠点に、ユネスコ世界ジオパーク認定に向けた取組を推進します。

- ・南紀熊野ジオパークセンターの展示の充実をすすめます。



8 わかやまの美しい海づくり

黒潮の恵みを受ける和歌山は、リアス式の美しい風景に彩られた約652kmにも及ぶ長い海岸線と数多くの海水浴場を有しています。ふるさとの海を守り、より美しく海のレクリエーションを盛んにします。

- ・片男波海水浴場
 - ・加太海水浴場
 - ・浜の宮海水浴場
- などの砂浜の整地をすすめます。



3 がん対策の充実

和歌山はがんで亡くなる方が多い県です。がんになっても安心して治療が受けられ、自分らしく生きることができるよう支援制度を充実していきます。

- ・所得等が一定以下のがん患者の方に対して、先進医療の一部を補助します。
- ・がん治療前に、精子や卵子等を温存することで、希望を持ってがん治療に取り組むことができるよう支援します。



9 わかやまの文化財の保護

和歌山県には重要な歴史資産がたくさんあり、全国で国宝は6番目、重要文化財は7番目に多いところです。ふるさとの大切な文化財を保全して未来に伝え、郷土の活性化に寄与します。

- ・湯浅の歴史的なまちなみの修理・修景を支援します。
- ・有田市・浄教寺の十六羅漢像の保存修理をすすめます。



4 地元企業への就職を促進する奨学金返還支援

和歌山の経済を牽引する製造業や情報通信業の将来の担い手となる人材の確保を支援します。

- ・理系の大学生・大学院生を対象に県内の製造業や情報通信業などの業務を行う企業に就職し、3年勤務した場合、奨学金の返還を最大100万円支援します。



10 大切なふるさとの森を守り育てる

和歌山は古くから「木の国」と呼ばれ、県土の77%が森林です。森林は洪水や濁水の緩和、生物多様性の保全、地球温暖化防止と限りない恵みを与えてくれます。かけがえのない森林を守り育て、継承していきます。

- ・和歌浦地区等の松くい虫防除対策をすすめます。



5 犬・猫の殺処分ゼロを目指す活動への支援

和歌山県は、犬・猫の殺処分をなくすことを目標に、地域猫活動や新しい飼い主を探す活動に取り組む地域住民やボランティアを支援しています。

- ・これまでの活動で約2,500匹の野良猫に不妊去勢手術が施され、新しい家族が見つかった犬・猫は約1,100匹います。この支援を継続して、早期に「殺処分ゼロ」を実現します。



11 わかやまのナショナル・トラスト

和歌山は、みどり豊かな山々と雄大なリアス式海岸など、かけがえのない自然や歴史資産を数多く有しています。これらの自然を保全し、次の世代に引き継いでいきます。

- ・県民の公有財産として末永く保全していくために、自然環境の整備や土地の公有化をすすめます。



6 世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」の保全や活用

和歌山の世界遺産をかけがえのないふるさとの宝、人類共通の宝として保全・活用し、次世代に継承していきます。

- ・参詣道の維持管理・パトロールを行います。
- ・世界遺産・周辺地域の風水害等に対する緊急修繕等を行います。



12 子供たちの教育環境の充実 【返礼品なし】

各学校において、「学習環境の充実」、「特色ある学校づくり」などをすすめます。母校など寄附をしたい高等学校（私立も含む）や特別支援学校があれば指定することができます。



※ 充当事業につきましては、状況の変化等により、変更する場合がございますので、あらかじめご了承ください。
 ※ お寄せいただいた寄附金の成果につきましては、「ふるさと和歌山応援サイト」などで報告させていただきます。

ふるさと納税総合サイト「ふるさとチョイス」の
URL・QRコードはこちらです。

URL : <https://www.furusato-tax.jp/city/product/30000>



「ふるさと和歌山応援サイト」のURL・QRコードはこちらです。

URL : <https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/010500/furusato/>



**** ふるさと和歌山応援寄附（ふるさと納税）に関しましては ****

★お問合せ・申込窓口★

〒640-8585

和歌山市小松原通一丁目1番地

総務部総務管理局税務課

担当 工藤、宮本

電話 073-441-2186(直通)

FAX 073-423-1192

E-mail: furusato-ouen@pref.wakayama.lg.jp

★お問合せ窓口★

〒102-0093

東京都千代田区平河町2-6-3

都道府県会館12階

和歌山県東京事務所

担当 宮本

電話 03-5212-9057

FAX 03-5212-9059

自然・風物情報(4月中旬～5月上旬)

時期	自然・風物名	場所	問い合わせ先
4月中旬	ハーブ園見頃	和歌山市 ・西庄ふれあいの郷ハーブ園	西庄ふれあいの郷 ハーブ園管理事務所 073-456-3533
4月中旬	シャガの群生見頃	田辺市本宮町・熊野川 「備崎橋」付近	熊野本宮観光協会 0735-42-0735
4月中旬	牡丹の開花	九度山町・真田庵周辺	真田庵 0736-54-2218
4月中旬	たけのこ収穫最盛期	和歌山市・山東地区	J Aわかやま 073-471-3731
4月中旬	セッコクの花が一枚岩に	古座川町相瀬	古座川観光協会 0735-70-1275
4月下旬	藤の花見頃	橋本市・子安地藏寺	子安地藏寺 0736-32-1774
		日高川町・美山藤棚ロード	美山温泉愛徳荘 0738-57-0241
4月下旬	ツツジ見頃	和歌山市・和歌山城、 四季の郷 他	和歌山城整備企画課 073-435-1044
			四季の郷公園 073-478-0070
4月下旬	「川添茶」茶摘み始まる	白浜町・市鹿野	J A紀南 0739-23-3450
4月下旬	アカモク収穫 最盛期	由良町小引地区沿岸	紀州日高漁協 0738-22-0451
4月下旬	和歌山城にこいのぼり	和歌山市・和歌山城天守閣	和歌山城整備企画課 073-435-1044
5月上旬	シャクナゲ見頃	印南町・川又観音	印南町観光協会 0738-42-1737
		高野山・金剛三昧院	高野山宿坊協会 0736-56-2616
5月上旬	アユ釣りが解禁始まる	県内各河川 ※地域により解禁日設定	和歌山県内水面漁業協同 組合連合会 0736-66-0477
5月上旬	カキツバタ見頃	和歌山市・養翠園	養翠園 073-444-1430
5月上旬	あやめ満開	日高川町・あやめ公園	日高川町企画政策課 0738-22-2041
5月上旬	みかんの花満開	有田市・有田川町 ・海南市 他	

～編集後記～

「和歌山だより」をご覧いただいている皆さん、本年4月1日付けの人事異動により秘書課長を拝命し、編集長となりました 中松 則夫（なかまつ のりお）（田辺市出身）と申します。どうぞよろしくお祈りいたします。

まず、最近の話題として、新型コロナウイルスによる感染が全国で拡大し、東京都、大阪府、兵庫県などに新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言が発出されました。「和歌山だより」をご覧になっている皆さんが多くお住まいの地域ですので、皆さんや関係の方々も感染されていないか、また、日常生活に多大な影響があることとご心配申し上げます。本県においても感染者が確認されて以降、感染の拡大を封じ込めるための対策に全力で取り組んでいるところですが、一日も早くこの困難が終息することを祈っています。

ところで、和歌山ではちょうど晩柑（晩生の柑橘）の出荷がピークを迎えています。農産物直売所を訪れますと、有名なものでは不知火（デコボン）、清見、ネーブルオレンジ、その他にも女性の名前と見紛うような、はるみ、はるか、なつみ等といった非常にたくさんの種類の晩柑が並んでいます。それぞれ香りや味わいが異なっており、食べ比べるのも楽しいですし、柑橘類には免疫力を高めるビタミンCが多く含まれるといわれていますので、是非お召し上がりください。前に述べました新型コロナウイルスの状況を鑑み、本年は通信販売等をご利用願います。感染症の流行が終息しましたら、本県にお越しになり農産物直売所を覗いてみてください。

今後も、ふるさと和歌山の今が分かるような旬の情報をお届けしていきますので、ご期待ください。

知事室秘書課長 中松 則夫

★「和歌山だより」Web版を和歌山県ホームページにアップしています。Web版ならではの美しい画面を楽しんでいただけますので是非御覧ください。

和歌山だよりに対するご意見・ご感想をお聞かせください。また、皆様がお持ちの和歌山に関する情報をご提供ください。今後、皆様のお声を紙面づくりに活かしていきたいと考えています。

（下記のFAX（様式自由）、E-Mail等でお祈りいたします。）

■FAX 073-422-4032

■E-mail e0001003@pref.wakayama.lg.jp

和歌山県のホームページ <https://www.pref.wakayama.lg.jp/>

ふるさと和歌山応援サイト <https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/O10500/furusato/>

2020年（令和2年）4月 No.144

*個人情報につきましては、「和歌山だより」の発行以外の目的には、使用いたしません。



和歌山県 秘書課
〒640-8585 和歌山県和歌山市小松原通1-1
TEL 073-441-2022